10月17日（日）
ホームカミングデー
第28・29回　同窓生の集い

卒業１年（72・73期　令和２・３年卒）
卒業10年（62・63期　平成22・23年卒）
卒業25年（47・48期　平成７・８年）

無料ご招待！

卒業40年（32・33期　昭和55・56年卒）
卒業50年（22・23期　昭和45・46年卒）
卒業60年（12・13期　昭和35・36年卒）

“同窓生の集い“は招待期の皆さんを中心に、母校文京高校を舞台に毎年開催される同窓生の交流のための催しです。懐かしい恩師も多数出席され、多くの年代の卒業生の交流の場として賑わっています。同級生やクラブ仲間を誘いあってぜひご参加ください。

●開催日時　令和３年10月17日（日）　午後２時～午後４時

●集合時間　招待期、教員：午後１時受付開始、午後１時半より記念撮影開始
　　一般同窓生：午後１時半受付開始

●場　　所　母校体育館

●会　　費　招待期、教員：無料　　一般同窓生：1,000円（当日受付にてお支払い）

●申し込み　招待期：各期世話人が受け付け、いない場合は同窓会ＨＰよりお申し込み
　　一般同窓生：同窓会ＨＰよりお申し込み（名札を用意します）。当日参加ＯＫ

●飲　　食　軽食と飲み物を用意しています。（学校内禁酒・禁煙です）

●学校への電話での問合せはご遠慮ください。
学校は同窓会のことは答えられませんので、同窓会ホームページか学校宛の手紙・ハガキでお願いします。

同窓会ホームページ

〈プライバシーポリシー〉　同窓会が保有している住所等の情報は紫筍郵送、同窓会、同期会等の連絡にのみ使用し、ご本人に確認することなく、そのほかの用途には使用致しません。

文京高校同窓会会報紫筍64号　令和３年６月１日発行　発行人・編集人：小林洋一郎
発行：東京都立文京高校同窓会　〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 1-1-5　東京都立文京高等学校内　印刷：恵雅堂出版株式会社

紫筍 SHIJUN

今年度活動予定

まだ収まらない新型コロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。母校もようやく落ち着きを見せ今年3月の卒業生の進学状況は相当向上したようです。また昨年は例年にも増して多額のご寄付をいただき役員・常任幹事一同感激しております。

さて今年度の同窓会の活動予定ですが、一応例年通りの日程で設定いたしましたが、コロナの影響次第で中止になるかもしれません。参加予定の方は事前にご確認ください。

・4月15日　国公立、難関私立大学進学者対象奨学金、私学対象チャレンジ応募締切
・4月18日　総代会
・5月中旬　小論文募集
・6月1日　会報誌「紫筍」発行、73期会員名簿発行
・6月2日　体育祭
・9月4,5日　紫雲祭
・9月11日　創立80周年記念式典、同祝賀会
・10月3日　第29回東京校歌祭
・10月17日　第28・29回同窓生の集い
・3月上旬　国公立、難関私立大学進学者対象奨学金、私学対象チャレンジ募集
・交流会支援は今年も中止します。

以上です。ご参加できる行事があればお気軽にご参加ください。引き続き同窓会活動にご協力ご支援いただきますようお願い申し上げます。

同窓会役員・常任幹事一同

東京都立文京高等学校同窓会誌
http://www.bunkyo-ob.net/　文京高校同窓会

紫筍（しじゅん）はスクールカラーの紫と若竹のようにすくすくと躍進する筍から名付けられました。

差出人・返還先：恵雅堂出版株式会社　〒162-0053　東京都新宿区原町1−28
※このお荷物は御依頼主様からお預かりし、当社が差出人となって発送代行しています。

これからの同窓会

副会長兼会計部長　隅　田　彰　子

母校は昨年度創立80周年を迎えました。

伝統もあり、人気のある明るい雰囲気の文京高校の卒業生であることをうれしく思います。

同窓会と聞くと若い世代の方は堅苦しいイメージを抱くかもしれません。私もそうでした。

引越しをするうちに住所不明になり、同窓会誌『紫筍』も手にすることなく過ごしていました。それでも連絡を取っていた当時のクラス幹事だったクラスメートにそそのかされて（？）参加することに……クラス幹事、学年幹事、会計担当、部長、副会長と名前は変わりましたが先輩に教えて頂きながらの日々は以前のイメージとは大きく違いました。

役員、常任幹事といえどもそれぞれに仕事を持ち、家族と過ごしている一卒業生です。無理のない範囲で協力し、責任を持ちながらもなおかつ楽しめるように活動できなければ意味はありません（と言いつつ至らぬ点が有りましたらお許し下さい）。

同窓会活動は、在校生支援はもちろんですが、同窓生の繋がりを強めることも大切だと感じています。コロナ禍で昨年度は中止にせざるを得なくなりましたが、『集い』をはじめ、『交流会支援』など新しい取り組みを試行錯誤しながら始めています。ホームページも随時更新して新しい情報を掲載しています。過去の『紫筍』は先輩方のご協力を頂き全て掲載することができました。それを形にしてくれたのが若い世代の常任幹事の皆さんです。

もっともっと新しい意見を取り入れながら柔らかい同窓会にしていければと思います。

つたないこの記事を見て少しでも参加、協力してみたいと思う方が増えてくださることを願っています。

同窓会の入会は現在、残念ながら卒業生全員とはなっていませんが卒業後でも入会はできます。

最後になりましたが毎年たくさんのご寄付を頂き感謝申し上げます。毎年度ご入金くださる方、心より御礼申し上げます。卒業したばかりの方、亡くなった同窓生の家族の方からご寄付を頂くこともありました。昨年度は特に多くのご寄付を頂きました。『運営協賛金』並びに『奨学金』共に、大切に使わせて頂きます。

第73回 総代会

目次

副会長挨拶（隅田彰子 25期Ｇ組）…… 2
副校長挨拶（副校長　安井弘明）…… 3
あの頃の文京（22 期）…… 4
あの頃の文京（23 期）…… 5
直撃インタビュー（戸倉敏夫 20期Ｅ組）…… 6
褒賞金授与者、大学進学状況…… 8
教職員人事、創立80周年祝賀会
校歌祭のお知らせ…… 9
運営協賛金、奨学賛助金、
その他寄付の名簿…… 10
令和２年度会計報告、令和３年度予算 …… 11
ホームカミングデーのお知らせ …… 裏表紙

コロナ禍の文京

東京都立文京高等学校　副校長　安　井　弘　明

令和２年２月26日「新型コロナウイルス感染症に関する学校における対応について（通知）」、次いで２月28日「新型コロナウイルス感染症対策本部の要請に基づく都立学校の対応について（通知）」が、東京都教育委員会教育長から各都立学校長あて発出された。あらゆる都立学校が、気色ばんだ時である。

文京高等学校は、26日発出の文書に基づき、２月27日から始業時間を午前９時30分として時差通学を徹底、学年末考査は実施する方向で対応策を検討していた。しかし、続く28日発出文書によって、３月２日から春季休業までを臨時休業とし、学年末考査、卒業式予行、部活動の全面中止を決断、生徒及び保護者にむけて、文書及びホームページで連絡することとなった。この中で、卒業式は保護者及び来賓の参加をご遠慮願うこととなった。そのため、生徒及び保護者に卒業式という高校３年間の集大成を、如何にして思い出として残していただくかを同窓会及びＰＴＡとの相談と協力のもとビデオ撮影、ＣＤ化によって実現した。

また、修了式は、放送によって行い、生徒は各クラスで式を迎えることとなった。

この後も新型コロナ感染症は猛威を振るい、４月６日はついに緊急事態宣言が発出され、臨時休業期間が、５月６日まで延長され、更に５月31日まで延長された。このため、入学式を延期しさらに、年間行事予定を見直し、夏季休業期間及び冬季休業期間が全都立学校において短縮されることとなる。

５月、本校は、校長の指導のもと学習の保障の方策を模索し始め、いち早くオンラインでの課題提示や授業動画の配信、Zoomでの双方向授業などを、教科主任をはじめとしたすべての教科担当者が検討し、実施している。

３学年生徒は、センター試験が共通テストに改変され、未だどのように実施されるのか不透明さが続く中、否が応でも受験勉強のモードにならざるを得ない状況であった。しかし生徒は新型コロナの苦境の中でも自分の進路を真剣に追い求め、それを支援する教員が、支援の在り方を模索していたといえるであろう。

６月から、ようやく登校できるようにはなったものの、分散登校は続き、クラスの生徒全員が顔を合わせることができない状況が続く。６月末やっと全生徒登校による教育活動が再開された。同じクラスの生徒が全員揃うことができるようになり、最初はぎこちなかった人間関係も少しずつ少しずつ改善された。２学期には、先生方の中から学校行事の実施が教育活動において、人間力を育成するためには非常に重要なことであるとして、必要視されはじめた。

そんな中、３学年生徒は自らの力で、新型コロナ感染症予防を踏まえた学年体育祭と学年文化祭を計画、実行している。それに続き2,1学年も先輩を見習いながら学年文化祭、学年体育祭を実現させた。

残念ながら、令和２年度の卒業式も、生徒と教職員だけで行われたが、昨年と同様に卒業式の様子をＣＤの形で残す活動や、入場をピアノの生演奏にする新しい活動も行った。

令和２年度卒業生は、学業も最後まで諦めることなく、個々に目指した進路を多くの生徒が実現できたとの知らせを今も受け取っている。

文京高校は、80年に及ぶ歴史を生徒と教員の双方の信頼関係を基盤として、多くの先輩諸氏にご支援を賜りながら伝統を培ってきた学校であることを再確認できた1年間であった。生徒たちには、この先も自らが苦境をはねのけ努力した高校生活を誇りに思い、自らの将来に向かって力強く進んでくれるものと信じている。

22期

あの頃の文京

22期D組　飯塚　嘉平

学校群制度導入

昭和42年度４月、男270人、女180人、合計450人の22期生が入学。この年は都立高校の入試で学校群制度が導入された年で、我々がこの制度での第１期生でした。

学校群制度は、１つの学区内を５つから６つくらいの群で構成し、１つの群は2校から４校で構成されていました。例外として学区内をまたがって受験することができる群が２つ設けられました。文京が所属する92群もその１つで、２学区の生徒と４学区の生徒が受験できました。群を構成する際には、いろいろと問題があったようで、当初文京は小石川高校と群を構成する予定でしたが、結局、向丘高校、そして２学区の赤城台高校と群を組むこととなりました。また、受験科目も前年までは９科目でしたがこの年から３科目になりました。

ユニークな先生と授業

まず、高校に入学して驚かせられた先生は木村治郎先生でした。1年次の担任で授業は地学を担当されていました。授業中に問題を出し、解答できないと校庭を雪が降った日でも走らされました。また、逆に、解答できると昼飯をおごってくれたりしました。夏休みには先生と一緒にクラスで尾瀬に1泊旅行をしたり、星の観察のために屋上にテントを張ったりしました。

2年次は赤坂正雄先生が担任でした。先生は、落研の顧問をしておられ教え子に落語家の三遊亭圓窓さんがいました。ある日、圓窓さんがテレビで赤坂先生お元気ですかと呼びかけているのが放送されていました。先生は先生自身もユーモアに富んでいる方でクラスの古典のテストの点が悪い時にはコテンコテンにやられましたねといって落ち込んだクラスの雰囲気を和らげてくれました。西岡弘先生との同期生コンビは今でも忘れられません。

選択制授業の導入

3年次には従来の大学進学に際しての希望コースである国立理系、私立理系、国立文系、私立文系のクラス分けは行われず、選択制授業が導入され、選択できる授業が大幅に増えました。例えば数学は、6、4、2単位を選択でき、理系を進学する生徒は6単位、国立文系を希望する生徒は4単位、私立文系を希望する生徒は2単位または選択しないことが可能になりました。そのほか社会では世界史、日本史、政経、倫社が自由に選択でき、理科も物理・化学が自由に選択できるなど、時間ごとに教室を移動して他のクラスの人と授業を受けることとなり、クラスのみならず学年としての一体感の醸成にも選択制授業は寄与したのではないかと思います。選択制授業は大学の授業体制に似ているところがあり、大学入学後の授業にスムーズに入っていくことができました。

学校バリケード封鎖

確か昭和44年10月21日の国際反戦デーの日だと思いますが、図書室を拠点に、一部の生徒が校舎をバリケード封鎖しました。この年の前後は、学生運動が盛んで、東大の安田講堂立てこもり事件があり、東大入試が中止になりました。文京高校のバリケード封鎖は、機動隊が入ることもなく、2、3日ほどで解除されましたが、バリケード封鎖されてからは解除されても授業は再開されず、連日全校集会が行われました。授業再開までには10日間くらいかかったと思います。私はもう一人の生徒と連日の全校集会の議長と議事録作成を行いました。我々は、毎日柔道部の道場に泊まり込み、議事録を作成しましたが、当時はワープロもパソコンもなく、ガリ版で文書を作成し、輪転機を回して印刷をするという大変な作業でした。こうした中でも、全校集会に参加せず、家や予備校で受験勉強をしている生徒もいました。これから大学入試に向けて受験勉強に力を入れなければならないという時でしたので焦る気持ちとはやる気持ちがありましたが、いい経験となりました。

※映画「青春'70」（野球部記録映画）をYouTubeで検索してご覧ください。　https//youtu.be/bA_cp8maBLE

23期

あの頃の文京

23期卒・旧職員　渡部　曜

私が文京高校に入学したのは昭和四十三年、都立高校はその前年度から学校群制度という入試制度になっており、入りたい学校に応募するのではなくその学校が属する学校群に応募するというシステムになっていました。学校間の格差を減らそうとしたシステムなのでしょうが、これが原因でその後は都立高校の人気がどんどん下がっていってしまいましたね。私は希望する文京に割り振られたのですが、希望しない学校に割り振られた友人には、都立高を辞退し私立高に行った人もいました。文京高校は92群、向丘高校と今は無き赤城台高校の三校で群を作っていて、第二学区と第四学区の両方から応募できる珍しい群だったのです。あの頃は、自分の住んでいる学区の中から学校を選ぶことになっていました。四学区出身の私に、初めて新宿区や杉並区などに友達ができました。

小・中学校では特に委員などもやらず、体が大きいこと以外にはあまり目立たない学校生活を送ってきた私は、文京に入って何故かこのままではだめだと思うようになり、生徒自治会の委員に立候補しました。当番の日には、昼休みに校門へ走って行き、生徒が無断外出をしないよう見張る仕事をしていました。中学校では三年間ブラスバンド部でバス（チューバ）を吹いてきた私でしたが、これもどうしようか悩み、入学してから二ヶ月間ぐらいどこにも属さずうろうろしていました。そこへ、同じ一年生のブラスバンド部員から「きみ、中学でバス吹いてたんだって。今度地区の音楽会があるんだけどバスが居ないんだ。入ってくれないかな。」と誘われて即入部。二週間後に演奏会に出ることになったのです。このお誘いが、その後の私の人生にとても大きな影響を与えてくれることとなりました。その後、ブラスバンド部では副部長、生徒自治会では執行部になった私は、毎日いろいろな仕事に追われ、勉強以外のことに熱中していきました。中学時代の友人には「え、お前が？」と驚かれるほど中学時代とは変わりました。二年生の秋には学園紛争も経験しました。そこでは全校集会の進行係をやり、いろいろなことを考えさせられました。そんな高校生活を送ってきた私は、成績は下降の一途。卒業時の成績はとてもひどいものでした。

浪人後なんとか国立大学に合格し文京に報告に行ったときには、先生から「え、本当に受かったのですか？」と驚かれるほど文京での成績はひどかったのです。

文京卒業後、大学、大学院を経て高校教師となったのですが、その間も文京ブラスバンド部には指導に通っていました。夏の合宿には十回以上参加したと思います。大きな声を出して指導し、部員たちの相談にのる。この経験は後の教師としての資質として大切で、それはこの環境で養われていったのだと思っています。そして昭和六十年度から平成八年度までの十二年間、私は母校文京高校で物理の教員として勤務することになります。吹奏楽部（名前が日本語に変わっていました）員たちは「渡部先輩」が「渡部先生」になって大分戸惑ったようでした。先生方にも生徒としてお世話になった方々がいらして、「これからは渡部君ではまずいかな」などとおっしゃっていらっしゃいました。とくに、生徒時代に学年主任でいらした先生が、私が所属した生活指導部の主任をされていて、またお世話になることになったのです。その仕事のひとつが、昼休み校門に立って無断外出する生徒を止めること。校門に立ちながら、何で生徒のときと同じことしてるのだろうと思うのでした。吹奏楽部での思い出は、文京創立五十周年の式典での「ポピュラー音楽五十年史」を顧問総出で演奏できたこと、都のコンクールでB組一位となり、今は無き普門館で特別演奏ができたことなど、数えきれず山ほどあります。これもみな消極的だった私を積極的にしてくれた文京高校のおかげだと思います。文京ありがとう！

直撃インタビュー39「世の中の動きに関心を持つ」

戸倉 敏夫 さん（20期Ｅ組）

プロフィール

1965年文京高等学校入学
1973年早稲田大学教育学部卒業、同年シチズン商事（株）入社、外国部配属
1979年香港、1982年ドバイ、1988年ドイツハンブルグ、1989年イタリアミラノ、1995年フランスパリ駐在
2000年シチズン商事（株）取締役、2007年シチズン時計（株）常務取締役
2012年シチズンホールディングス（株）代表取締役社長
2016年シチズン時計（株）代表取締役社長、2019年取締役会長、2020年特別顧問

シチズン時計は資本金326.48億円、19,593人（共に2020年３月31日現在）の従業員をかかえる日本を代表する大会社である。今回、その会社の社長、会長を務めた戸倉敏夫さんにインタビューをお願いした。

シチズン時計のシチズン（CITIZEN）は、1924年に独自の設計によって開発した、懐中時計の第1号モデルを発売したとき、当時の代表・山崎亀吉と親交があった東京市長の後藤新平が、“市民に広く愛されるように”という願いを込めて、このファーストモデルに「CITIZEN―市民」を冠し、後に社名とした。

家近くの文京高校

文京高校近くの池袋で育った。戦後のベビーブームであったため、卒業した池袋中学校は一学年16クラスで、遠足時現地に到着する前に、前半のクラスはすでに昼食をすませていた程であった。

高校を選ぶにあたり、今とは異なり校風、偏差値、将来の進路をはっきり決めて選ぶという者は多くはなかったと思う。私立への進学など頭には全くなく、都立に行くことだけであり、まあ文京ぐらいには合格できるということで受験した（文京とはどういう学校なのか、校風、進学率も知らなかった）。はっきりとここへ行きたい等入学前には意識したことはない。

文京高校は進学校であることは確かであったが、がむしゃらに受験勉強をするというのは感じられず、全体的にはおっとりとした自由な校風であった。校舎は新しくきれいで、グランドは広かった。その校風に染まったせいか、がむしゃらに何かに夢中になるとか、将来何をやってやろうとか、高校まで拡がりつつあった学生運動にも興味なく、ただ何となく高校生活を送っていた感じがする。1・2年の担任だった阿部先生（書道）の印象が深く、特に先生の教育に対する情熱、生徒に接する温かさは心に残っている。また高校の先生はこんなにレベルが高いのだと感心した。

サークルは地理歴史研究会で部長もやった。新潟県の三面の落人伝説の村や多摩川梨を調べて、文京祭で発表した。これは印象に残る思い出である。地理歴史は好きであったが、入部の動機は地理の先生（中田先生）の話が面白かったことである。その他では友人とその父親の赴任先であった銚子に、夏休み十日間ぐらい逗留し海水浴や町の探索、また冬はユースホステルを利用したスキーと楽しい思い出は多く残っている。まあ普通の目立たぬ生徒であったし、高校時代の出来事がその後の人生に何か影響を及ぼしたことはない。強烈な出来事はなかった。

大学では英語会（ESS）

大学入学後即英語会（ESS）に入部。中学校時代から英語に興味を持っていたが、一般の授業は学生運動の影響でほとんどなかったせいもあるが大学生活即英語会と言っても過言でないぐらい活動に没頭した。そのせいもあり海外志向は非常に強かった。

その当時の希望はジャーナリストで、新聞記者を志望したが不合格。当時は学部制限があり文学部、教育学部は金融、商社、メーカーなどへの門戸は大変狭かった。新聞社に落ちた後たまたま就職部で見つけた募集にシチズン時計の販売部門であったシチズン商事があり学部制限もなかったために受験し、合格した。

楽しい会社に入った

シチズンは輸出に力を入れ始めた時であり、シチズンの海外進出と軌を一に仕事が出来たことは幸運であった。

最初の外国赴任地は、1979年香港であったが、ほとんどはドバイ、サウジアラビアへの出張であった。1982年にはドバイに自分で事務所（私1人だけ）を作った。当時のドバイは砂漠だけで、何もないが、酒はそこそこ飲めるぐらい中東の中では比較的に自由な国であった。

その後、一時帰国し、1988年ドイツのハンブルグに赴任した。この後、イタリアのミラノ、フランスのパリの駐在を経て1998年に帰国。ヨーロッパには10年駐在したことになる。そして2000年、シチズン商事取締役となった。

シチズン商事は上下関係なく自由に物が言え、仕事以外でも映画、小説などで侃々諤々議論ができた本当に楽しい会社であった。

ブランディングの考え

2000年シチズン商事の取締役、シチズン時計執行役員、シチズン時計、シチズンホールディングスの常務取締役を経て、2012年シチズンホールディングス（株）代表取締役社長となった。そして2016年ホールディング体制をやめ事業持株会社へ体制変更、新シチズン時計株式会社の代表取締役社長となった。

社長となって心掛けたことは、グループの事業のポートフォリオの明確化である。時計中心のグループであることを明確化するために、事業の整理も行った。

時計事業についてはブランドとは何かということをヨーロッパ駐在で学んだので、シチズンブランドの価値向上というブランディングの考えを社員全員に植え付けることを心がけた。シチズンブランドだけでは多様な消費者のニーズは捉えられず、海外ブランドの買収、高価格帯への端緒をつけるためにスイスのメーカーの買収など、M&Aを積極的に仕掛けた。

この間、すべてが順調に成長しているわけではないが、リスク分散、効率化の観点から海外工場の再編、時計以外の事業は集中と選択、その結果としてグループ会社の再編（合併、解散）に取り組んだ。2019年にはシチズン時計取締役会長となり、2020年役員を退き、現在はシチズン時計特別顧問である。

文京生へのメッセージ

世の中は我々の世代では50年掛かった時間が10年ぐらいで変化する。もしかしたらそれ以上のスピードで変化しているかもしれない。その変化は技術の進歩だけによってもたらされるものではなく、グローバル化した世界で人々の意識が大きく変化していることも大きい。

誰も予測できない時代にこれから生きていく若人は常日頃から世の中の動きに関心を持つこと、情報の取得は多様な媒体から取り、その評価を自分なりに下す習慣をつけること。そうしていく中で自分ならどう生きていくのか、何をしたいのかが徐々にわかってくると思う。それが見つかればそこに向かって果敢に挑戦してほしい。

そして、変化という大きな波は絶えず来るので、その波に飲み込まれないように既成概念を取り払い自分の考えをしっかり持ってほしい。

今後の人生設計

うまい料理とお酒をできるだけ長く楽しみたいので、早朝のジョギングと犬の散歩は欠かさずに続けている。以前飼っていた犬が5年前に死んだので、一昨年新しい犬を飼い始めた。この犬の寿命と自分の残りの人生の長さを比べて、出来るなら犬を送ってから自分の人生を終えたいと思っているが、そううまくいくかどうか。

その他は今まで学んでみたいと思っていた科目を大学の生涯学習講座の中から選び学びたいのと、大好きなヨーロッパをまた旅したい。

コロナ禍の一刻も早い収束を願っている。

聞き手　20期G 浅野俊雄、20期H 大野　透
（2021年３月17日）

第10回　令和元年度奨学褒賞金授与者（褒賞金３万円）

難関大学進学者 18名

早稲田大学　文学部
吉田　磨生（B組）73期

早稲田大学　文学部
齋藤　野冬花（E組）73期

早稲田大学　教育学部
坂野　匠（A組）73期

早稲田大学　教育学部
加治 優太（A組）73期

早稲田大学　教育学部
川島　大樹（B組）73期

早稲田大学　スポーツ科学部
古田　太陽（E組）73期

早稲田大学　文化構想学部
西　留育（A組）73期

慶應義塾大学　理工学部
岩間　龍空（Ｉ組）72期

慶應義塾大学　理工学部
林　穎涛（H組）73期

慶應義塾大学　法学部
齊藤 健太（C組）73期

慶應義塾大学　文学部
白石　凜太郎（A組）73期

慶應義塾大学　文学部
大瀧 優陽（D組）73期

上智大学　理工学部
五十嵐　塁（G組）72期

上智大学　経済学部
坂本　萌（E組）73期

上智大学　経済学部
萩原　昴（E組）73期

東京理科大学　先進工学部
伊藤　俊輔（G組）73期

東京理科大学　理工学部
吉田 隼祐（Ｉ組）72期

東京理科大学　理工学部
小松 陽平（Ｉ組）73期

国公立大学進学者 18名

お茶の水女子大学 文教育学部
泉　咲来（C組）73期

一橋大学 法学部
糸山　怜志（B組）73期

岩手大学 教育学部
高野　優太（Ｉ組）73期

埼玉県立大学 保健医療福祉学部
渡邉　佳菜（H組）73期

埼玉大学 経済学部
森田　俊平（A組）73期

埼玉大学 理学部
松下　慶利駿（G組）73期

新潟大学 理学部
漆原　理心（G組）73期

千葉大学 園芸学部
伊藤　広生（G組）72期

筑波大学 体育専門学群
小俣　靖二朗（G組）72期

筑波大学 芸術専門学群
管　里乃　（D組）73期

電気通信大学 情報理工学域
小石　柾帆　（H組）73期

東京学芸大学 教育学部
小野里　祐太（B組）73期

東京学芸大学 教育学部
大竹　愛美　（D組）73期

東京学芸大学 教育学部
永山　卓志　（D組）73期

東京学芸大学 教育学部
勝木　啓斗　（E組）73期

東京学芸大学 教育学部
宮澤　愛　（E組）73期

東京都立大学 人文社会学部
山岸　遼太郎（E組）73期

琉球大学 工学部
杉村　光太郎（Ｉ組）73期

主な大学合格者数（令和３年度卒業生、73期生）

国公立大学

大　学　名	人数
一橋大学	1
お茶の水女子大学	2
東京外国語大学	1
東京学芸大学	7
電気通信大学	1
筑波大学	2
千葉大学	2
埼玉大学	4
東京都立大学	4
横浜市立大学	1
都留文科大学	1
茨城大学	1
岩手大学	1
釧路公立大学	1
高崎経済大学	1
高知工科大学	1
埼玉県立大学	1
鹿児島大学	1
新潟大学	1
富山大学	1
福井県立大学	1
琉球大学	2
国公立大学　計	38

早慶上理＋ICU

大　学　名	人数
早稲田大学	12
慶應義塾大学	6
上智大学	7
東京理科大学	17
国際基督教大学	0
（小　計）	42

MARCHG

大　学　名	人数
明治大学	42
青山学院大学	22
立教大学	40
中央大学	20
法政大学	68
学習院大学	21
(小　計)	213

成成明獨國武

大　学　名	人数
成城大学	24
成蹊大学	13
明治学院大学	10
獨協大学	26
國學院大学	19
武蔵大学	24
（小　計）	116

日東駒専

大　学　名	人数
日本大学	58
東洋大学	99
駒澤大学	21
専修大学	28
（小　計）	206

その他の私立大学

大　学　名	人数
大東文化大学	16
東海大学	14
亜細亜大学	11
帝京大学	18
国士舘大学	2
芝浦工業大学	20
東京都市大学	9
東京電機大学	29
工学院大学	8
津田塾大学	5
東京女子大学	15
日本女子大学	17
その他	1,095
（小　計）	1,259
私立大学　計	1,836

教職員人事異動（令和３年度）

転　出	転　入
渡邊　英信（国語・退職）	大谷　あけみ（国語・小松川）
仁上　雄貴（地歴・江戸川）	半田　一司（地歴・江北）
三浦　誠一（地歴・練馬）	佐藤　亜也子（地歴・目黒）
福田　俊輔（数学・江北）	山内　弥生（数学・竹早）
中山　元希（理科・深川）	松元　卓也（理科・東大和）
伊藤　嘉記（理科・定年退職）	山田　茂博（理科・新宿）
宍戸　　成（保健体育・高島）	糸川　勇（保健体育・第一商業）
山下　晃伸（外国語・北園）	横瀬　喬哉（外国語・広尾）
田邊　　優（養護・東久留米特別支援）	金澤　美加子（養護・竹台）
坂本　　昇（社会・退職）	佐藤　由紀子（社会・高島）
渡辺　　穣（数学・退職）	竹石　尚（数学・小松川）
本村　邦夫（外国語・退職）	藤丸　俊宏（外国語・大山）
武田　一郎（副校長マネジメント支援員・退職）	内田　志づ子（副校長マネジメント支援員・成瀬）
野村麻生子（外国語・九段中等）	徳江　将（理科・芦花）
塚本亜希美（養護・足立新田）	松下　紅美（外国語・国際）
相馬　義則（経営企画室長・定年退職）	安部　宏幸（経営企画室長・建設局）
大関　徹也（主事・教育庁福利厚生部給付貸付課）	堀田　容江（主事・大泉桜高）
村山　了規（主事・中部学校経営支援センター管理課）	橋本　颯（主事・新規採用）
八木沢まち子（専務的非常勤職員）	大中　麻希（専務的非常勤職員）

創立80周年記念祝賀会のご案内

昨年開催予定でした創立80周年記念祝賀会は今年開催される式典に合わせて以下の要領で開催いたします。ぜひご参加いただけるようお願いいたします。

日時：令和３年９月11日（土）午後３時30分～５時
会場：サンシャインクルーズクルーズ（池袋サンシャインシティ 58階）
出席：まだ未確定のため同窓会ホームページをご覧ください。
注意：コロナの状況で中止となる場合がありますので同窓会ホームページをご覧ください。

第28回 東京校歌祭のご案内

日時：令和３年10月３日（日）12時30分～ 16時10分
会場：杉並公会堂（荻窪駅北口から徒歩７分）　〒167-0043 東京都杉並区上荻１丁目23－15
出演：10番目（前半最後）14時00分
集合：12時50分、練習：13時00分～ 13時40分

初めての方でも出演前に発声練習を行いますので楽譜を見ながら分かるところだけ歌っていただいても結構です。楽譜は当日お貸しいたします。服装は派手な服装でなければ自由です。初めて参加の方は同窓会のメール（soumu@bunkyo-ob.net）にてお申込みください。多くの方の参加をお待ちしております。

催事部長　大野　透（20期卒）

寄付者一覧（2020年４月１日～2021年３月31日）

444名の方より運営資金1,880,000円、奨学金1,328,000円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。（卒期の漢数字は旧制、洋数字は新制高校卒です）

期	組	氏　名	運営金	奨学金
一	B	野久保泰徳	3,000	
二	A	登山　昌昭	2,000	2,000
二	A	高杉　暹		3,000
二	E	飯坂　忠昭	3,000	
三	A	吉田　豊	5,000	25,000
三	E	永山　升三	20,000	
四	A	高橋　明	3,000	
四	C	橋本　茂	3,000	
1	AB	久保　昌樹	10,000	
1	AB	藤澤　豊彦	3,000	
2	A	佐藤　裕	3,000	
2	A	大蔵丈大郎		10,000
2	B	柴崎　英一	2,000	1,000
2	B	木村　精二		3,000
2	C	室伏　孝一	1,000	
2	C	笠原　春雄	1,000	1,000
2	C	石澤　英昭	2,000	
3	B	庄司　武夫	3,000	
3	C	真木　昭		3,000
3	E	五十畑宏一	10,000	10,000
3	E	岡本　彬	3,000	
3	E	塚越　弘二	10,000	
3	E	矢島　稔	4,000	2,000
3	E	根本　政雄	5,000	
4	A	肥田　浩一	2,000	1,000
4	A	芳賀　保夫	2,000	
4	A	近藤　真啓		5,000
4	B	田辺　勲		20,000
4	C	菱田　政夫	2,000	1,000
4	C	豊田恵之助	3,000	
4	C	古藤田汎達	5,000	
4	C	福本　健次	3,000	
4	C	佐藤　佳男	3,000	
4	E	土屋　輝昌	1,000	
4	E	野本　林	1,000	1,000
5	B	奥住　實	3,000	
5	B	真田　博通	2,000	1,000
5	C	島野良之右	5,000	5,000
5	C	稲垣　年治	5,000	
5	C	種田　守宏	5,000	
5	E	関口　一	5,000	
5	E	藤川　怜子	10,000	
5	E	東　勇介	1,000	2,000
5	F	那須野綾子	3,000	
5	F	五十畑具子	50,000	10,000
6	A	稚橋　章二	5,000	5,000
6	A	橋本　文男		5,000
6	B	多田　實	3,000	
6	B	青柳　光信	1,000	
6	C	浜口　宜子	5,000	5,000
6	C	尾形　佳郎		10,000
6	C	古賀美智子	1,000	
6	D	岩木　里子	10,000	
6	D	野呂瀬博道	3,000	2,000
6	D	吉川　悦子	3,000	
6	E	柳澤　憲二		100,000
7	A	鶴井　恵子	2,000	1,000
7	A	山本　茂雄	3,000	2,000
7	A	野村　武彦	3,000	2,000
7	B	本間　暉代	1,000	1,000
7	C	大久保英一	2,000	
7	D	石井　康雄	2,000	
7	E	市園　裕神	3,000	
7	E	中尾　充宏	5,000	5,000
7	E	小倉　啓	3,000	
7	F	竹腰　恭重	1,000	
8	A	松山　繁昭	3,000	2,000
8	A	中林　忠良	1,000	1,000
8	B	横山　芳昌	1,000	
8	B	川村　宏子		10,000
8	B	鈴木　秀男	3,000	
8	C	隅山　克己		100,000
8	D	斉藤　宏	1,000	2,000
8	D	西　欽之助	3,000	
8	E	前原　善子	2,000	2,000
8	E	天川　博史	20,000	
8	F	小松　征子	3,000	
8	F	大沢　洋子	3,000	
9	A	山田　昭捷	5,000	
9	A	泉　誠一	3,000	
9	A	池野　洋一	5,000	
9	A	所　矩雄	2,000	3,000
9	A	五十畑誠子	5,000	5,000
9	B	石川　有二	10,000	
9	B	小島　幸枝	3,000	
9	B	種橋　秀章	20,000	30,000
9	B	中田　基邦	1,000	
9	B	井上　孝子	3,000	
9	C	西村　靖雄	3,000	
9	C	太宰　啓至	1,000	
9	C	渡辺　勝久	1,000	5,000
9	C	鈴木　昌夫	1,000	1,000
9	D	松村　敏雄	10,000	
9	D	神谷　正行	10,000	10,000
9	D	八木　章	1,000	1,000
9	D	永田　貴成	3,000	3,000
9	E	中山　秀隆	2,000	3,000
9	E	中村　富秋	3,000	3,000
9	F	南雲　良	1,000	1,000
9	F	岡本　憲治	5,000	10,000
9	F	田村　幸子	1,000	1,000
9	F	中林　慶子	1,000	1,000
9	F	仁科　敏枝	7,000	3,000
9	F	市丸　順司	1,000	
9	F	曽根　光子	10,000	
10	A	大塚　和子	3,000	
10	D	近藤　紀夫	3,000	2,000
10	D	藤崎　可雄	2,000	1,000
10	F	渡辺　定雄	5,000	5,000
11	A	豊田　耕一	15,000	5,000
11	A	岡村　良子	3,000	
11	A	内山　盛雄	10,000	10,000
11	B	新井　定雄	10,000	10,000
11	B	安齋　幸子		10,000
11	B	佐藤　英明	2,000	
11	B	土屋美智子	5,000	
11	C	中村　一也	3,000	
11	C	四十物雄次	1,000	4,000
11	D	荒井　和	5,000	5,000
11	D	清水　美治	1,000	
11	D	森田　宏	3,000	
11	E	畑中はる子	1,000	1,000
11	E	横内　幸子	5,000	5,000
11	F	菱木　誠	2,000	
11	F	林田　有史	3,000	2,000
11	F	小熊　文隆	5,000	5,000
11	F	三井　徳子	10,000	10,000
12	A	高橋　清子	1,000	1,000
12	A	橋本　治子	3,000	
12	B	三好美都子	5,000	5,000
12	B	中山　節子	1,000	
12	C	長縄　光男	1,000	2,000
12	C	山口　昭臣	10,000	
12	D	江口　栄治	1,000	
12	D	滝谷敬一郎	1,000	
12	E	初芝　宣孝	30,000	20,000
12	E	園部　禮子	5,000	
12	E	戸波恵之助	10,000	
12	E	野口　友子	10,000	
13	A	増子　隆	3,000	5,000
13	A	田村キミエ	2,000	
13	A	木村　輝美	3,000	
13	B	石渡　博之	3,000	2,000
13	B	田中　征江	3,000	
13	C	栗又　俊二		10,000
13	C	榎本　洋	5,000	5,000
13	C	後関　公夫	10,000	10,000
13	C	沢野　健二	2,000	1,000
13	C	鈴木　晴也		10,000
13	D	松山　昌平	3,000	
13	D	梁池　忠夫	10,000	
13	E	宇野　峰子	3,000	7,000
13	E	黒河　昭一	1,000	
13	F	齋藤　和子	5,000	10,000
13	F	野澤　克己	5,000	5,000
13	F	高宮　三郎	6,000	10,000
13	F	福本　理乃	5,000	5,000
14	A	若林　正彦	1,000	1,000
14	A	新井　弘順	7,000	3,000
14	B	川辺　昇	10,000	
14	B	徳田真基子	3,000	5,000
14	B	岡田　善行	3,000	
14	B	正藤多紀子	1,000	
14	C	藤山　幸史	2,000	1,000
14	C	山田務杜央	1,000	
14	C	岩片　将士		5,000
14	C	三角　信行	10,000	
14	C	鎌形　功	2,000	
14	C	岩澗　真一		10,000
14	C	鈴木　茂保	5,000	
14	D	川口　俊治	1,000	
14	D	梅原　成晃	3,000	
14	D	吉川　忠男	3,000	
14	E	高井新一郎	3,000	
14	E	田中　紀昭	3,000	
14	E	比田　君代	2,000	1,000
14	E	久野　歌子	5,000	5,000
14	E	山口　晴夫	3,000	
14	E	原田雄一郎	3,000	2,000
14	F	高岡　祥治	3,000	
14	F	柳沢　章	5,000	5,000
14	F	鈴木　喜雄	1,000	
14	F	浅賀　愛子	1,000	1,000
14	F	永田　文子	1,000	1,000
14	G	大津トシ子	1,000	5,000
15	A	河合　敏子	5,000	
15	A	倉田　智子	3,000	
15	B	西端　輝子	1,000	
15	C	野萩　勝利	3,000	
15	E	新宮　領篁	3,000	
15	G	石嶋　光代	3,000	
15	G	川島やす子	3,000	
16	A	宮内　宏三	1,000	
16	A	石塚　嘉典	3,000	3,000
16	C	荻野　惇		100,000
16	C	早川　和子	10,000	
16	D	小島　庸三	5,000	5,000
16	D	竹内　義浩	1,000	
16	D	安藤　純夫	5,000	5,000
16	E	弓場美紗子	5,000	
16	E	栽松　修	2,000	1,000
16	E	大川　衛	5,000	5,000
16	F	青木　修	1,000	1,000
16	F	三浦　洋子	1,000	
16	F	大橋　修三	3,000	
16	G	田村　泰昭	1,000	
16	G	西尾　建男	5,000	
16	G	菊地　賢三	5,000	
16	G	野田みや子	5,000	
16	H	久田　護	1,000	1,000
17	A	那須　妙子	3,000	3,000
17	A	太田　正	10,000	
17	A	花山　良男	10,000	10,000
17	A	近藤　義雄	1,000	3,000
17	B	志村　修	3,000	2,000
17	B	北島　綾子	3,000	2,000
17	B	伊藤　民夫	1,000	
17	B	松原　正彦	2,000	1,000
17	D	大津　光義	10,000	
17	D	真塩　允久	1,000	1,000
17	D	倉形　健一	10,000	10,000
17	D	秋山　調通	2,000	
17	E	落合レイ子	3,000	10,000
17	E	今野真佐子	5,000	
17	E	中山　洋治	3,000	
17	E	小林　泰子	3,000	
17	G	小畑　裕美	2,000	3,000
18	A	柴山　一行	3,000	3,000
18	A	小野口　修	5,000	5,000
18	B	渡辺　昌	1,000	1,000
18	B	村山　清		5,000
18	B	柳下　譲次	3,000	
18	C	山田　宣直	3,000	
18	C	岡村　洋次	1,000	2,000
18	D	藤原　泰子	3,000	
18	D	堀江　智子	3,000	
18	E	横倉　礼子		2,000
18	E	小須賀　洋	1,000	3,000
18	E	緑川　久子	5,000	5,000
18	E	都築　慎一	5,000	
18	F	米林　正彦	5,000	5,000
18	F	西部　健二	3,000	
18	H	岡村　和子	1,000	2,000
18	I	湯原　民子	5,000	5,000
18	I	野崎　真輔	5,000	5,000
18	J	佐藤　典子	10,000	10,000
19	A	中村　一昭	8,000	6,000
19	B	赤松かの子	3,000	
19	B	村上　葉子	5,000	
19	C	久木　春子	1,000	
19	C	野口真紀子	4,000	
19	D	菅沼　公子	3,000	2,000
19	D	大塩義一郎	1,000	
19	F	田村　洋子	3,000	
19	G	増田　秀子	1,000	1,000
19	G	横坂新二郎	3,000	
19	G	渡辺　博孝	5,000	
19	H	稲見　一郎	3,000	3,000
19	H	金田　修一	3,000	
19	I	倉島　清	3,000	
20	A	工藤　貞江	3,000	
20	A	伊藤　俊一	3,000	
20	A	岩本　栄一	3,000	
20	C	礒飛　昇	5,000	5,000
20	C	小林　信介	5,000	5,000
20	D	福島　進	5,000	5,000
20	D	田代久美子	5,000	
20	D	柏原　英明	1,000	
20	D	田中　正子	3,000	
20	E	内原　康雄	10,000	10,000
20	E	小林　正己	2,000	1,000
20	F	橋本ひろ美	1,000	1,000
20	F	増吉　康二	1,000	
20	G	海老原　章	3,000	
20	H	大野　透	5,000	5,000
20	H	樋口　博信	7,000	
20	I	伊藤　雅章	5,000	5,000
21	A	佐々木慎一	10,000	10,000
21	A	古川　真	1,000	
21	A	橋本　輝雄	1,000	4,000
21	A	小林　孝平	10,000	
21	A	川崎　一利	3,000	2,000
21	A	寺嶋　清美	3,000	
21	C	茂木　幸蔵	3,000	2,000
21	C	日下部和子	1,000	2,000
21	C	礒辺みち子	2,000	1,000
21	C	中村　隆	3,000	
21	C	加藤　和子	1,000	1,000
21	D	丹下　昇	2,000	3,000
21	D	永山　加秀	6,000	
21	E	清水　遵	1,000	
21	E	野尻　充孝	3,000	2,000
21	E	古賀　道明	5,000	5,000
21	F	戸川　秀樹	2,000	
21	F	林　滋彦	20,000	10,000
21	F	長沢　和子	3,000	
21	H	積田　政江	5,000	3,000
21	H	武村　道雄	2,000	
22	A	藤巻　守	1,000	
22	B	上村香代子	5,000	
22	B	大庭　緑	3,000	
22	B	村上　和夫	5,000	
22	C	青山キミヨ	10,000	
22	C	尾谷　良子	2,000	2,000
22	D	臼井　健	5,000	5,000
22	E	浪江　豊一	1,000	
22	F	嶋方　猛	3,000	
22	F	伊東　久寿	3,000	
22	G	細野　貢一	5,000	5,000
22	I	李家　健一	3,000	
22	I	渡辺　良枝	3,000	
22	I	匿名希望	5,000	
22	I	林　紀子	10,000	
23	A	春木　直治	1,000	1,000
23	B	秋山　豊	1,000	
23	C	持永　和明	3,000	3,000
23	C	中川　和子	3,000	2,000
23	E	中井　壽子	3,000	
23	E	清水　洋子	3,000	
23	H	柴田　欣治	3,000	
23	H	寺内　博	1,000	1,000
24	A	諏訪部照久	5,000	
24	C	小澤　公一	10,000	
24	D	長澤　潔	3,000	7,000
24	D	波多野義和	3,000	
24	D	伊藤　薫	3,000	
24	D	片桐　弘	3,000	
24	E	杉本　等	2,000	
24	F	田辺　恵子	1,000	
24	G	古橋　健一	5,000	5,000
24	G	澤田　建二	1,000	
24	H	太田　治	3,000	
24	H	宮本外喜男	3,000	
24	I	外川　恵子	1,000	
25	A	柏原　久幸	2,000	1,000
25	B	加藤　信淨	1,000	2,000
25	C	宮川美知子		50,000
25	D	中野　美彦	4,000	1,000
25	F	星野　明彦	2,000	1,000
25	G	関　誠	4,000	6,000
25	G	東　恭子	50,000	
25	H	加賀美健二	11,000	11,000
26	B	斉藤　幸久	10,000	
26	C	時田　公代	3,000	3,000
26	F	姫野　敦子	3,000	
26	F	泉水　純子	3,000	
26	F	大島利英子		3,000
26	G	西　乾二郎	3,000	
26	G	嶺村千恵子	5,000	5,000
26	G	嶺村　功	5,000	5,000
26	I	植原　正幸	5,000	
27	A	芹田　栄之		3,000
27	A	菅野　享子	50,000	50,000
27	C	羽場　弘明	5,000	
27	D	潮田　幹夫	3,000	
27	E	中村由比子	2,000	
27	H	関本　浩貴	3,000	
28	B	佐々木悦子	3,000	
28	B	種田けい子	3,000	3,000
28	D	尾沼　涼	5,000	5,000
28	F	大関　邦子		3,000
28	G	藤田　正幸	2,000	2,000
28	H	吉田　均	5,000	5,000
28	I	竹之内由季	1,000	
29	A	島田　康子	10,000	10,000
29	C	渡辺　知子	3,000	
29	D	森沢　淳子	1,000	
29	H	市川　栄市	2,000	1,000
30	F	西山　勲	1,000	
30	G	山田　正明	10,000	
30	G	鼻田　義郎		5,000
30	H	西山　良枝	3,000	
30	H	斉藤　正治	3,000	
31	A	杉田　広樹		30,000
31	A	神保　喜彦	5,000	5,000
31	E	塚越　淳	3,000	
31	G	今井　憲一	2,000	2,000
31	H	片山　慶子	2,000	1,000
32	A	本橋千枝子	1,000	1,000
32	D	飯田　恭二	1,000	1,000
32	E	中西　美幸	3,000	
32	H	小俣みち子	5,000	5,000
33	G	大川　久子	2,000	
33	I	油井　清恵	3,000	
33	I	滝沢　教之	5,000	5,000
34	A	中山　裕久	3,000	
34	A	細田ひとみ	5,000	5,000
34	B	出光　賢一	12,000	
34	D	平岡　俊彦	3,000	
34	D	相澤いと子	1,000	
34	E	関口　研二	5,000	4,000
34	E	柴崎　時子	1,000	1,000
34	I	柴下　幸恵	1,000	5,000
35	C	小澤　晴美	1,000	
35	H	会場　真美	3,000	
36	A	大場　裕介	3,000	
36	B	上岡　昇二	3,000	3,000
36	B	正司　浩一	3,000	2,000
36	D	山口　文子		2,000
36	J	黒田　智美	7,000	3,000
37	C	相沢　潤	200,000	
37	I	富田　麗穂	1,000	1,000
38	B	島根　偶子	1,000	1,000
39	A	正田　剛	2,000	1,000
39	B	高林　千尋	1,000	1,000
39	C	小野　文子	1,000	
39	D	鈴木　正浩	2,000	1,000
39	F	土田　絹子	2,000	
39	G	小甲　和恵		3,000
39	I	大久保道子		3,000
40	A	佐々木高志	10,000	
40	F	高木　園子	1,000	5,000
41	H	増山　裕子	1,000	
42	B	清水　勇司	2,000	
43	A	坂内　元美		10,000
43	E	小森　豊	10,000	10,000
43	I	鈴木　義仁	5,000	5,000
43	I	蓬田由起子	5,000	5,000
49	G	小田　綾子		2,000
50	E	北川　翠	3,000	
50	H	鈴木　祥子	1,000	
54	F	関　武史		1,000
55	B	岩沢　佳祐		1,000
56	B	須藤　拓也	4,000	4,000
56	B	成瀬あゆみ	1,000	
57	A	福崎　俊一	1,000	1,000
61	E	佐藤有花里	2,000	3,000
64	C	岩潟麻由美	1,000	1,000
65	B	田久保宇紀	1,000	
65	F	増田　泰大	3,000	2,000
66	F	佐藤　明幸	1,000	1,000
66	H	石合　崇人	1,000	
68	C	金親　杏	2,000	2,000
68	I	森本　真弥	2,000	1,000
69	E	恩田　優也	1,000	
69	G	須田　薫平	1,000	
69	H	土谷　和史	1,000	
70	A	佐山　智務	1,000	
71	B	山地　翔	1,000	
教員		羽生　和政	2,000	
教員		渡邊　完治	1,000	
教員		野口　高明	3,000	
校長		古井　純士	1,000	
嘱託		鈴木喜太郎	5,000	
			1,880,000	1,328,000

令和３年度都立文京高校同窓会予算案（単位：円）

令和３年４月１日～令和４年３月31日
会長　小林　洋一郎（18期Ｂ組）

【収入】

科　目	予　算　額
前年度繰越金	6,316,029
運営協賛金	1,600,000
広告掲載料	180,000
集い会費	20,000
預金利息	0
その他（寄付等）	0
小　計	8,116,029
同窓会入会金	（360名）5,940,000
合　計	14,056,029

【支出】

科　目	予　算　額
会報発送費	2,000,000
名簿作成費	80,000
会報制作費	1,200,000
ホームページ運営費	25,000
集い開催費	1,200,000
紫雲祭参加費	40,000
校歌祭参加費	110,000
母校支援費	800,000
生徒支援事務費	60,000
総代会開催費	30,000
同窓会運営費	400,000
交流会支援費	200,000
周年行事積立金	200,000
予備費	1,771,029
合　計	8,116,029

令和２年度都立文京高校同窓会決算報告書（単位：円）

令和２年４月１日～令和３年３月31日
会計部長　隅田　彰子（25期Ｇ組）

【収入】

科　目	決　算　額
前年度繰越	4,320,802
（注１）入会金	（289名）4,768,500
運営協賛金	1,880,000
広告掲載費	0
集い会費	0
預金利息	34
その他寄付等	0
合　計	10,969,336
単年度合計	6,648,534

（注１）決算額31年度卒業２名、２年度卒業287名

【支出】

科　目	決　算　額
会報発送費	1,846,049
名簿作成費	80,000
会報制作費	1,207,388
ホームページ運営費	24,960
集い開催費	0
紫雲祭参加費	0
校歌祭参加費	0
母校支援費	600,000
生徒支援費	17,893
総代会開催費	7,560
同窓会運営費	226,877
交流会支援費	0
周年行事積立金	200,000
予備費	442,580
合　計	4,653,307
繰越金（初期運営費）	6,316,029

奨学金基金

前年度残	収　入	支　出	本年度残
8,265,200	利息　2	小論文　0	8,705,202
	奨学賛助金　1,328,000	難関大学進学　690,000	
		卒年表彰　198,000	

基本財産明細

科　目	前年度残	増　減	本年度残
信託・定額預金	34,842,851	0	34,842,851
周年行事積立金	0	200,000	200,000
財産目録合計	34,842,851	200,000	35,042,851

令和３年４月４日
監査の結果以上に相違ないことをご報告申し上げます。
監　査　中村富秋（９期Ｅ組）
　　岡本憲治（９期Ｆ組）